

## 台湾からチー・クワン小スクールバンドが来校



豊年祭り、山の神に感謝する台湾族の代表的な曲、民謡「春風望む」など5曲を披露し、東川小全校児童は、最前面に8台のオルガンを並べ、21台のアコーディオンが奏でる日本にはない独特なサウンドに聞き入りました。

農村環境改善センターでは、東小スクールバンドと交歓演奏会も開きました。

同小は2年に一度日本を訪れて各地で交流を重ねているといい、津市(三重県)、浜松市(静岡県)に続いて3度目の来日。人気の北海道には初めて訪れたといい、旭岳も訪れ、4泊5日で演奏と観光の道内旅行を楽しみました。

5月12日、台湾・新北(シンバツチ)市の莒光小学校(チー・クワン、陳叡智IIチエン・レージー校長、児童数3千450人)のスクールバンドの児童と父母の一行110人が東川小学校(大久保善邦校長)の子どもたちと交歓演奏会などで交流しました。

5、6年生の児童61人は、アコーディオン、鍵盤ハーモニカなど主要な楽器を台湾から持参して来訪しました。台湾のスクールバンドコンクール金賞受賞、馬英九総統の前でも演奏したという素晴らしいサウンドを披露しました。

## 豊作願って神饌田でお田植え祭

5月8日、東2号北1、三田常男さん(67)の北海道神宮神饌田(しんせんでん)で今年のお田植え祭が行われました。

薄曇りながら春本番を感じさせる陽気に恵まれました。伊澤正裕権宮司の豊作祈願に続いて12人の早乙女が素足で田に入りました。6人の介助役から「ゆめびりか」の苗を受け取り、田植え唄(うた)のゆつくりとした調子に合わせて手植えしました。



「どうしてもやってみたい」と装束を借りて体験し「去年は母と3人の姉と一緒に来て、旭岳で初めて雪を見ました。今年は田植えを体験できてうれしい。楽しかった」と大満足。

稲刈りに当たる抜穂祭(ぬいぼさい)は、順調に生育が進めば9月上旬ごろの予定。北海道神宮に約20坪分の新米10俵(1俵は60kg)を奉納する予定です。

町内の今年の田植えは15日ごろから本格化しました。

## 秋にはカレーパーティー!

5月20日、幼児センターで畑作りが始まりました。今年のテーマは「カレーパーティーをしよう」。

9月、みんなで育てた野菜いっぱいのカレーライスをお腹いっぱい食べよう、というのが目標です。



## 幼児センター畑づくり始まる

センター隣の畑は約100坪(約330平方尺)。

元農業改良普及員の岡田紘一さん(70)が中心となって技術指導し、今年はお母さんたちが5人もボランティア参加してくれました。5歳児60人の子どもたち

がトウモロコシ、タマネギ、ニンジン、じゃが芋を植えました。

岡田さんは「いっぱい穫れたら道草館で売ることも考えているんだよ」。

今年から「はたけの教室」と名付けました。町の子どもたちへの食育活動として町教委学校支援地域本部が取り組む皮切りです。自分の手で作って食べることを学んでもらいます。(8頁を参照)